

1 教科の目標

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。(知識及び技能)
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。  
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
一学期	歌唱「校歌」 ・新しい仲間と楽しく歌おう 鑑賞「春」 ・音楽を形づくっている要素に注目し、情景を思い浮かべながら聴こう 合唱「合唱祭学年曲」「合唱祭クラス曲」 ・曲想やパートの役割を感じ、表現しよう ・仲間と共に声を合わせ歌う楽しさを味わおう	・新しい仲間と楽しく歌う ・曲想と音楽の構造と関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、よさを味わって聴く ・曲想やパートの役割を感じ、表現する ・豊かな混声合唱の響きを味わい、表現する
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>9月21日(土)の合唱祭までは、合唱祭の学年合唱曲とクラス合唱曲の練習に取り組みます。</b> </div>		
二学期	鑑賞「魔王」 ・曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう 創作「リズム創作」 歌唱「赤とんぼ」「浜辺の歌」 ・日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・曲想と音楽の構造と関わりについて理解するとともに曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、よさを味わって聴く ・リズムを創作し、音楽の要素について理解する ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらをいかした曲にふさわしい歌唱表現を工夫して歌う
三学期	鑑賞「箏曲 六段の調」 ・箏曲の特徴を感じ取って、よさを味わおう 器楽「箏」「さくら」他 ・楽器の音色や響きと奏法との関わりを知りそれをいかした表現を工夫して演奏しよう 器楽「アジアの諸民族の音楽」 ・アジア各地の音楽を聴こう	・我が国の伝統音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともにその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史を知りその特徴から生まれる音楽の多様性を理解する

3 評価の観点、資料、方法

評価の観点	評価の資料、方法
知識・技能	ワークシート(学習シート)(鑑賞レポート) 実技テスト、授業での実技技能、作品等 授業内での発言・様子
思考・判断・表現	ワークシート(学習シート)(鑑賞レポート) 実技テスト、授業での実技表現、作品等 グループ学習での参加姿勢等
主体的に学習に取り組む態度	基本的な授業に臨む姿勢・意欲 提出物・挙手・発言等の主体的な学習への取り組み グループ学習での参加姿勢等